



無縁社会と呼ばれる社会。日々の暮らしの中で他者との関わりが薄れ、孤独な人が増えていきます。そんな中、いつでもだれでもが行ける・受け止められる居場所づくりの必要性が叫ばれています。今回は、一人一人が安心してつながれる場づくり、支え合う関係性を持った地域を創るために必要なこととは何か、地域の皆様と一緒に考えていきたいと思えます。

# 憩いの家水いっぱい 設立二周年 記念シンポジウム

日時：2014年5月10日（土）

14時～16時

テーマ「孤独に寄り添う ～地域の居場所づくりと住民の役割～」

会場：越谷市中央公民館 第5会議室

参加費：無料

プログラム

14:00 開会あいさつ

14:10 基調講演 東洋大学教授小林良二先生

14:40 シンポジウム

コーディネーター：小林良二先生

シンポジスト：加藤弘詔氏 大相模不動尊 眞大山聖寺住職

瀬尾里美氏 越谷市社会福祉協議会 地域福祉課副主査

マルコ・ヴィツラ 憩いの家水いっぱい代表

15:55 閉会のあいさつ